亚卫压	包工業高等	専門学校	開講年度	平成30年度(2018年度)	授	業科目	歴史学概	論 I		
科目基		17 7			/	,	·				
<u>- </u>		0063			科目区分		一般 / 選	 沢必修			
授業形態		授業			単位の種別と単	位数	履修単位: 1				
開設学科		電気電子工			対象学年		4				
開設期		前期			週時間数 2						
教科書/教	数材			歴史』北村正義(学術図書出版)・『最新世界史図 弋』由井正臣(岩波ジュニア新書)			ストリー』	帝国書院編集	集部(帝国書	院)・『大	
担当教員		藤野 月子									
到達目	標										
1. ヨー 2. 如何	ロッパ・日2 にして列強が	本における市民 が各地へ進出し	選手命及び産業革命 , 互いに対立を深	命の歴史的な意義。 深めていったのか,	と相違点が理解・説 現代へ繋がる過程	明出来る が理解	る. ・説明出来	る.			
レーブ	リック										
			理想的な到達レ		標準的な到達し	ベルの目	安	未到達レ	ベルの目安		
評価項目1			ヨーロッパ・日流 命及び産業革命 相違点が深く理	命及び産業革命	命及び産業革命の歴史的な意義と 命え			3ーロッパ・日本における市民革 な及び産業革命の歴史的な意義と 3違点が理解・説明出来ない.			
评価項目	2		如何にして列強: , 互いに対立を , 現代へ繋がる: 説明出来る.	が各地へ進出し 深めていったのか 過程が深く理解・	 互いに対立を 	協が各地へ進出し を深めていったのか る過程が理解・説明 、 現代へ繋がる過程が理解・説明 、 現代へ繋がる過程が理解・説明 出来ない.					
_ 学科の	到達目標項	頁目との関係	•		•						
教育方:	法等										
現代の社会			会を理解するためには,近代の過程を理解することが必要不可欠である.このこ 人としての視野を形成し,ひいては,世界の今後の在り方を自らで模索出来る能						ことを通じ,世界を舞台に活躍 能力を養うことを目指す.		
・すべて(授業の進め方・方法 ・授業は ・「授業は			の内容は学習・教育到達目標(A)の〈視野〉及びJABEE基準1(2)の(a)及び(f)に対応する. 講義形式で行う. 講義を聞き,黒板や教科書・図説を見つつ,配布したブリントの空欄を埋める. 計画」における各週の「到達目標」はこの授業で習得する「知識・能力」に相当するものとする.								
主意点		<単位修得	要件>学業成績で	ハて同様の処置は行 6 0 点以上を取得	すること.			·			
	由	<単位修得 <あらかじ 新聞やテ <レポート	要件>学業成績で め要求される基礎 ・レビのニュースな など>長期休暇中	Nて同様の処置は₹ 6 0 点以上を取得 控知識の範囲>今日 なども教材としてÑ にレポートも課題	うわない. すること. の世界で起 <i>こ</i> ってし	いる歴史 それらも	的な出来	。 事に普段から まする.	ら関心を寄せて	こおくこと	
	画	< 単位修得 < あらかじ ・ 新聞やテ < レポート < 備考 > 『前 期中間・前	要件>学業成績で め要求される基礎 ・レビのニュースな など>長期休暇中	Nて同様の処置は₹ 6 0 点以上を取得 控知識の範囲>今日 なども教材としてÑ にレポートも課題	fわない. すること. の世界で起こってい 随時利用する. として提出させ ²	ハる歴史 それらも こと. 授 戈に必要	的な出来	事に普段から まする。 する学習時間 結が45時	ら関心を寄せて	こおくこと	
	画	<単位修得 <あ新げっト <ルボート <備キ目 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	要件>学業成績で め要求される基礎 いどのニュースを など>長期休暇中 最新世界史図説タ 期末の試験のため 受業内容	Nて同様の処置は₹ 6 0 点以上を取得 控知識の範囲>今日 なども教材としてÑ にレポートも課題	示わない。 すること。 の世界で起こってい 師時利用する。 として提出させ,2 業に必ず携帯するる 更に,レポート作成	ハる歴史 それらも だん 受 はに必要 週ごと いっこう いっこう いっこう かいかい かいかい かいい かいい かいい かいい かいい かいい かいい	的な出来 評価に加鳴 業で保障で な時間の紹 の到達目標 民革命の歴	ドロ普段から まする. する学習時間 計が 4 5時	ら関心を寄せて	こおくこと 3・復習(前 5.	
	画	Yellow	要件>学業成績で め要求される基礎にいてのニュースを など>長期休暇中最新世界史図説タ 期末の試験のため 受業内容 5民革命1 市民章	いて同様の処置は行60点以上を取得60点以上を取得第四識の範囲>今日なども教材として限いにレイボートも課題でストリー』は授かの学習も含む),	示わない。 すること。 の世界で起こってい 師時利用する。 として提出させ,2 業に必ず携帯するる 更に,レポート作成	ハる歴史 それらも だに必要 り り し し し し し し し し し い し い し い り し い し い	的な出来 評価に加鳴業で保障で な時間の紹 の到達目標 民革命の歴 出来る.	ドロ普段から まする. する学習時間 計が 4 5時	5関心を寄せて 別, 及び, 予覧 間に相当する	こおくこと 3・復習(前 5.	
	画	Yellow	要件>学業成績での学業の表現である。 要件と学される基礎である。 のでは、一人のでは、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	Nて同様の処置はだ60点以上を取得 知識の範囲>今日 知識の範囲>今日 にレボートも課題 パストリー』は授 かの学習も含む),	示わない。 すること。 の世界で起こってい 師時利用する。 として提出させ,2 業に必ず携帯するる 更に,レポート作成	いる歴史 それらも授要 過ごと必要 1. 理解 2. ア	的な出来 評価に加鳴業で保障で な時間の の の 到達目標 民革命の 歴出来る 、 メリカの 市	事に普段から まする。 まる学習時間 計が45時	5関心を寄せて 引,及び,予 間に相当する 及びイギリス 解出来る。	こおくこと 3・復習(前 5.	
		本語	要件>学業成績で め要求される基礎 いどのニュースを いとの一点期休暇中 最新世界史図説タ 期末の試験のため 受業内容 「民革命1 市民 「民革命2 アメリ 「民革命3 フラン	いて同様の処置はだらの点以上を取得 は 0 点以上を取得	示わない、 すること。 の世界で起こってい 態時利用する。 として提出させ、2 業に必ず携帯する。 更に、レボート作成 スの場合	いる歴史 それらも授 立と、授 道 ごと 1. 市解 が理解 2. ア 3. フ	的な出来 評価に加鳴業で保障の総 の到達目標 民出来る の別達の歴 メリカの市 ランスの市	事に普段から まする. まる学習時間 計が45時 でといいな意義 に民革命が理	5関心を寄せて 引,及び,予 間に相当する 及びイギリス 解出来る。	でおくこと 望・復習(前 5.	
	画 1stQ	Yellow	要件>学業成績での要求される基礎では、1 でのニュースをいった。	いて同様の処置はだらの点以上を取得 いるの点以上を取得 は知識の範囲>今日 いたレポートも課題 いたストリー』は授 かの学習も含む), 「 革命とは?イギリン リカの場合 ンスの場合	示わない。 すること。 の世界で起こってい 時利用する。 として提出させ、2 業に必ず携帯する。 更に、レボート作成 スの場合	いる歴史 それら、授要 しまで、 しまで、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	的な出来 評価に加鳴業で保障で保障で保険の経 の到達目標 民主来の歴 メリカの市 ランスの市 デンスの市 第二条での歴 は来る。	事に普段から まする. まる学習時間 計計が45時 歴史的な意義 可民革命が理 で史的な意義	6関心を寄せて 引,及び,予習 間に相当する 及びイギリス 解出来る.	でおくこと 望・復習(前 の市民革命 の産業革命	
		Yellow Part Par	要件>学業成績での要求では、1 での 1 での	いて同様の処置は行60点以上を取得60点以上を取得9年間の	示わない。 すること。 の世界で起こってい 態時利用する。 として提出させ、2 業に必ず携帯する。 要に、レボート作成 スの場合	いる歴 史 も授要 と 市解 ア フ 産解 5. ベ	的な出来 評価に加い 業時間の紹 民革命の 民工 メリンスの 市 、 デール 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	事に普段から まする。 する学習時間 を受けな意義 民革命が理 で、民革命が理 で、民革のな意義	6関心を寄せて 引,及び,予習 間に相当する 及びイギリス 解出来る. 図解出来る.	では では では では では では では では では では	
		Variable Variabl	要件>学業成績でのます。 要件 を 学業の表現 で	いて同様の処置は行 60点以上を取得 終知識の範囲>今日 なども教材として限 にレボートも課題 かの学習も含む), 革命とは?イギリン リカの場合 ンスの場合 半のとは?イギリン ギーとフランスの場 ソとアメリカの場合	示わない。 すること。 の世界で起こってい 態時利用する。 として提出させ、2 業に必ず携帯する。 要に、レボート作成 スの場合	いるだった。 をこれら、必 で いるで いった。 で いった。 で いった。 で いった。 で いった。 で いった。 で いった。 で いった。 で いった。 で いった。 で いった。 で いった。 で いった。 で いった。 で いった。 に りった。 で いった。 で いった。 に りった。 に りった。 に りった。 に りった。 に りった。 に りった。 と りった。 と りった。 と りった。 と りった。 と りった。 と りった。 と りった。 と りった。 と りった。 と りった。 と りった。 と りった。 と りった。 と りった。 と りった。 と りった。 と りった。 と りった。 と り。 と う と う と う と う と う と う と う と う と う と	的な出来 評業は に保障の で保間の で保間の 登庫の の では の の の の の の の の の の の の の	事に普段から まする. まする. 当時に でででは、 でででは、 でででは、 でででは、 でででは、 ででは、 ででは	6関心を寄せて 別、及び、予覧 間に相当する 及びイギリス 解出来る。 及びイギリス 解出来る。 及びイギリス 薬革命が理解と 薬革命が理解と 、日本の市民	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	
		Variable Variabl	要件>学業成績での要求の表現では、10世の上の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の	いて同様の処置は行 60点以上を取得 は10点の範囲>今日 は20点の範囲と今日 いたレポートも課題 いたストリー』は授 かの学習も含む), 単命とは?イギリン リカの場合 ンスの場合 革命とは?イギリンギーとフランスの	示わない。 すること。 の世界で起こってい 態時利用する。 として提出させ、2 業に必ず携帯する。 要に、レボート作成 スの場合	いる歴史 そこと 週 1.理 2. 3. 4.理解 5. 6. 2. 2. 2. 2. 3. 5. 6. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7.	的な出来 評価に保障が に保障が の 民当メラン 業出 リン を の の の の の の の の の の の の の	事に普段から まする。 する学習時間 する学習時間 でというな意義 でというな意義 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	6関心を寄せて 別、及び、予覧 間に相当する 及びイギリス 解出来る。 深なイギリス 業革命が理解出 革命が理解出 、が理解出来る。 が理解出来る。	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	
受業計		Variable Variabl	要件>学業成績でのます。 要件 を 学業の表現 で	いて同様の処置は行 6 0 点以上を取得 16 0 点以上を取得 16 0 点以上を取得 18 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	示わない。 すること。 の世界で起こってい 態時利用する。 として提出させ、2 業に必ず携帯する。 要に、レボート作成 スの場合	いる 歴 を も 授要 と 市解 ア フ 産解 ベ ド ロび 1 コ・ と 1 コ・	的な 評業な に保障が で関す で関す で関す で関す で関す で関す で関す で関す	事に普段から まする。 習学はよう。 でと、民民と でと、民工を では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	6関心を寄せる。 別、及び、予覧間に相当する。 一段のイギリスのは、 一段のイギリスのは、 一段のイギリスのは、 一段のでは、 一般のでは、 一を、 一を、 一を、 一を、 一を、 一を、 一を、 一を	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	
受業計		Wind Part	要件を学業成績での場合を対しています。 要性のでは、	いて同様の処置は行 6 0 点以上を取得 16 0 点以上を取得 18 回点以上を取得 20 点似 20 で 20 で 30 で 30 で 30 で 30 で 30 で 30 で	示わない。 すること の世界で起こってい 動時利用する。 として提出させ、 業に必ず携帯する。 要に、レボート作所 なの場合 なの場合 よの場合 オスマン帝国	いる だっと で も で で で で で で で で で で で で で で で で で	的な	原に普段から まするように まると まると まると まると まると まると まると まると まると まると	6関心を寄せて 別、及び、予習 別に相当する 及びイギリス 解出来る. 一般出来る. 一般出来る. 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	
受業計		Wind Part	要件>学業成績で機能を受ける。 では、	いて同様の処置は行 6 0 点以上を取得 16 0 点以上を取得 16 0 点以上を取得 18 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	行わない。 すること。 の世界で起こってい 随時利用する。 として提出させ、2 業に必ず携帯するる。 東に、レボート作成 スの場合	いるだった。 超には、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	的な価値を開いている。 おりまま かいまま かいまま かいまま かいまま かいまま かいまま かいまま か	原に普段から まする。 まする。 では、まする。 では、まする。 では、まずりでは、まずりでは、まずりでは、まずいでは、まがいでは、まずいでは、まがいではではではでは、まがいではではではではではではではではではではではではではではではではではではでは	6関心を寄せて 別、及び、予習 別に相当する 及びイギリス 解出来る. 一般出来る. 一般出来る. 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	
受業計		Variable Variabl	要件>学業成績で機能を受ける。 では、	いて同様の処置は行 6 0 点以上を取りに 6 0 点以上を取り 7 6 0 点以上を取り 7 8 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	示わない、 することとの の世界で起こってい 動時利用する。 として提出させ、 業に必ず携帯する。 要に、レポート作所 スの場合 スの場合 オスマン帝国 インド 東南アジア	いる だこ式 週1.理 1.理 2. ス記 1.理 2. ス記 1. ス 1. ス	的 評業な の民出メラ業出ルイシロ〜 - びン東 出来 「脚環な の民出メラ業出ルイシロ〜 - びン東 で間の 目の のののののののののののののののののののののののののののののののの	原に普段から まする。 まする。 はる学生も に一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、	6関心を寄せる。 別、及び、予覧に相当する。 別のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	
受業計		Wind Part	要件を学業の人類である。 要件を表すれる「表現である」を対しての人類の方式を表現である。 要素のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	いて同様の処置は行 6 0 点以上を取得 16 0 点以上を取得 16 0 点以上を取得 18 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	示わない、 すること・の世界で起こっています。ことでは明明する・として提出させ、ことではできます。ことでは、アンボート作品では、アンボート作品では、アンボート作品では、アンボート作品では、アンボートでは、アンボートでは、アンドーでは、アンドでは、アンドでは、アンドでは、アンドでは、アンドでは、アンドでは、アンドでは、アンがのでは、アンがのでは、アンがのでは、アンドでは、アンがのでは、アンドでは、アンドでは、アンドでは、アンドでは、アンドではなりでは、アンドでは、アンドでは、アンドでは、アンドでは、アンドでは、アンドでは、アンドでは、アンドでは、アンドでは、アンドでは、アンドでは、アンドでは、アン	いるださん。 超には、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	的 評業な の民出メラ業出ルイシ日~ - びン 東中ヨーは に保間 達命るカス 命る - とにのの ツスのアの ロオド南国 - とにののツスのアのロッスのアが戦略では アお業 容別 を しょう おり しょう	原に普段から まる学45 まる学45 に普段からないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	時間心を寄せて 別のであまする 別のであまする 別のであまする 別のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	
受業計	1stQ	ママ・ママ 1 1 1 1 1 1 1 1 1	要件学表言、表情である。 中央 大学	いて同様の処置は行いの点はできるに対して同様の上を取得している。 「もの点以を取りを取りませる。 いたのが関係をはいる。 いたのがでいる。 いたのがでいる。 いたのがでいる。 いたのが、	示わない、 すること・の世界で起こっています。 の世界で起こっています。 ・としております。 ・として必ず携帯・ト作が と業に、レポート作が スの場合 スの場合 オスマン帝国 インド 東南アジア 中国 スとフランスの場	いる だこな	的 評業な の民出メラ業出ルイシ日~ - びン 東中ヨフドな 価で時 到 革来 リン 革来 ギツ ア本 7 ロオド 南 国 ニライ にのの ッスの ア の ロンツ・ロンツ・ロッスの ア の ロンツ・ロッスの ア の ロンツ・ロッスの ア の ロンツ・ロッスの ア の ロンツ・ロッスの ア の ロンツ・ロッス・ロック・ロック・ロック・ロック・ロック・ロック・ロック・ロック・ロック・ロック	原に普のは はる学45 はる学45 に普る学45 にきる学45 にできるがはないでは、 ののでは、	6関心を寄せて 別、及び、予覧 別に相当する 別なび、イギリス ののでは、かずのは、 が理解は、 が理解はは、 がでの出来である。 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	
受業計	1stQ	Part Part	要件を対している。 要は を は で で で で で で で で で で で で で で で で で	いて同様の上で、 「60点以上を取得 は「60点以上を取得 はいまのを対していました。 にレボートのでは、 にレボートのでは、 にレボートのでは、 では、アイギリンので、 では、アイギリンので、 では、アイギリンので、 では、アイギリンので、 では、アイギリンので、 では、アイギリンので、 では、アイギリンので、 では、アメリカの場合で、 では、アメリカの場合で、 にした、とので、 では、アメリカの場合で、 には、これで、 には、アイギリンで、 では、アメリカの場合で、 には、これで、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	示わない、 すること・の世界で起こっています。 の世界で起こっています。 ・としております。 ・として必ず携帯・ト作が と業に、レポート作が スの場合 スの場合 オスマン帝国 インド 東南アジア 中国 スとフランスの場	いる たこな 週1、理1、アフ 1が1、1ので 1 ので 1 ので	的 評業な の民出メラ業出ルイシ日~ - びン東 中ヨフドがな 価で時 到革来リン革来ギツア本7ロオド南 国ーライ理出 に保間 達命るカス命る - とにのの ツスのア のロンツ解 標の 一	原に 音の はいから はいから はいから はいから はいから はいから はいから はいから	関心を寄せて 別のである。 別のである。 別のである。 別のでは、当する。 別のでは、当する。 別のでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	
受業計	1stQ 2ndQ	*** **	要件を対する。	いて同点は行きない。 「もの点はを取って同点以を取って同点以を対しません。 はいまながあります。 ないでします。 ないでは、 ないでは、 ないでは、 をいるでは、 でいるでいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるで	示わない、 すること・の世界で起こっています。 の世界で起こっています。 ・としております。 ・として必ず携帯・ト作が と業に、レポート作が スの場合 スの場合 オスマン帝国 インド 東南アジア 中国 スとフランスの場	いる たこな 週1、理1、アフ 1が1、1ので 1 ので 1 ので	的 評業な の民出メラ業出ルイシ日~ - びン東 中ヨフドがな 価で時 到革来リン革来ギツア本7ロオド南 国ーライ理出 に保間 達命るカス命る - とにのの ツスのア のロンツ解 標の 一	原に 音の はいから はいから はいから はいから はいから はいから はいから はいから	高関心を寄せて 別のである。 別のでは、当する。 別のでは、当する。 別のでは、当ずる。 別のでは、当ずる。 別のでは、また。 別のでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	
受業計	1stQ 2ndQ	A	要の要と対しています。 では、	いて同点以を配とっている。 は行きの点のを取りません。 はいいないでする。 はいいないでする。 はいいないです。 はいいないでする。 はいいないないでする。 はいいないないでする。 はいいないないないでする。 はいいないないないでする。 はいいないないないないでする。 はいいないないないないないないないないないないないないないないないないないない	示わない。 するない。 するではこっています。 するでは、ことでは、ことでは、ことでは、ことでは、ことでは、この性利用でする。 さいでは、ことでは、ことでは、ことでは、ことでは、ことでは、ことでは、ことでは、こと	いる たこな 週1、理1、アフ 1が1、1ので 1 ので 1 ので	的 評業な の民出メラ業出ルイシ日~ - びン東 中ヨフドがな 価で時 到革来リン革来ギツア本7ロオド南 国ーライ理出 に保間 達命るカス命る - とにのの ツスのア のロンツ解 標の 一	原に 音の はいから はいから はいから はいから はいから はいから はいから はいから	時間である。 別がである。 別がである。 別がである。 別がである。 では、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	
主意を受験がある。	1stQ 2ndQ	*** **	要件を対する。	T	おわない。 すすのはいます。 すること の世界で起こっている では、 の世界でする。 と まさいでは、 に な の は と までに の は と までに の は の 場 合 な の 場 合 な の 場 合 な の は れ な に の は れ な に の は れ な に の は れ な に な の は れ な の は れ な の は れ な の は れ な の は れ な の は な な な な な な な な な な な な な な な な な	いる だこ式 週 1 が 2	的 評業な の民出メラ業出ルイシ日~ - びン 東中ヨフドがア は 価で時 一	原に 音の ままな ままな ままな ままな ままな ままな ままな ままな ままな まま	高関心を寄せて 別のである。 別のでは、当する。 別のでは、当する。 別のでは、当ずる。 別のでは、当ずる。 別のでは、また。 別のでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	
受業計	1stQ 2ndQ	A	要の世界の大学では、大学の大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	おおい、 すると、の の世界でする。 と業更に スの場合 スの場合 スの場合 スの場合 スの場合 スの場合 スの場合 スのようで、アン・イタリストリア・イター・イター・イター・イター・イター・イター・イター・イター・イター・イター	いること 週 1が 2 3 4が 5 6 2点上 8響 9 1 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 3 1 3 1 1 1 1	的 評業な の民出メラ業出ルイシ日~ 「びン東中ヨフドがア 出 に保問 達命るカス命る 「とにののツスのアのロンツ解リ 」 文 東 加障総 一 標 歴 「	原に まする計画 では 民民 ウェリる 革が 強帝 地の 地の 帝 シスの 業の 解との が 国主・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	時間である。 別がである。 別がである。 別がである。 別がである。 では、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	
受業計	1stQ 2ndQ	A	要の要と対しています。 では、	Total	おわない、 するない、 するとで起こっています。 では見かけれています。 ではまずが、 ではまが、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	いること 週 1が2 3 4が5 6 2点上8響9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 3 2 3 4 が 5 6 2 点上 8響9 1 1 1 1 2 3 3 主 4 1 1 1 2 3 2 3 表 1 1 1 2 3 3 主 4 1 1 3 3 2 4 1 1 1 1 2 3 3 2 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	的 評業な の民出メラ業出ルイシ日~ - びン東中ヨフドがア は まままな 価で時 到革来リン革来ギツア本 7 ロオド南国 - ライ理メ に保間 達命る カス命る - とにののッスのアのロンツ解リカ 文 にを から	にはる学ができる。 では、大きないでは、まないでは、大きないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	の関心を寄せる。 別がよりである。 別がよりである。 別がよりである。 別がよりである。 一般には、からは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	

				第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。					3	
					紀後期以降の日本と 要を説明できる。	アジア近隣諸	省国との関係につい	て、そ	3	
		技術者倫理 (知的財産、法令順守、	(知的財産、 法令順守、	科学技術が社会に与えてきた影響をもとに、技術者の役割や責任 を説明できる。					3	
	工学基礎	持続可能性		科学者や技術者が、様々な困難を克服しながら技術の発展に寄与 した姿を通し、技術者の使命・重要性について説明できる。					3	
評価割合										
		試験	試験		プリント	レ7	ポート	合計		
総合評価割合		80	80		10	10	10		100	
配点		80	80		10	10	10		100	